

『一步』 作：ポチ子

一步歩くたびにやらかす。

その度聞こえる溜め息。

歩かなきゃいいのかもと思って立ち止まると、

それはそれで怒られて。

なんだかな。

進んでると思って踏み出した一步。

もしかしたら後ろ向きだったかも。

歩くたび、

皆から遠ざかってたりしない？

生きていると、

そんな不安ばかり。

次に踏み出した一步。

また間違っって後ろ向きだったらどうしよう。

足元にある空き缶に気づかなくて、

躓いて尻もち。

そしたらそこが坂になってて、

そのまま下までゴロゴロ転がり落ちる。

なんて妄想。

本当にならなきやいい。

『一步』 作：ポチ子

でも、なるかもしれない。

それならずっとこのまま。

どこにもいかず、

同じ場所にいたいな。

— 終わり —